

工事説明書

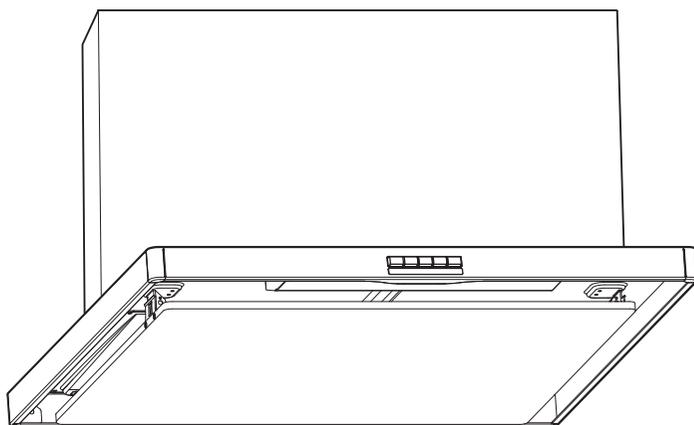
スマートスクエアフード

〈排気形〉

品番 FY-6HZC4A3
FY-6HZC4A4

〈給気シャッター連動形〉

FY-6HZC4S3
FY-6HZC4S4



工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」(2ページ)は、施工前に必ずお読みください。

- ・ 工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

もくじ

安全上のご注意	2
設置上のご留意	3
各部の名前	4
外形寸法図	5
付属品・別売品	6
取り付け前に	7~8
施工方法	9~18

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

	仕様変更・改造は絶対にしない 火災・感電・けがの原因となります。		レンジフード本体と排気ダクトは、可燃物との間を10 cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆う 火災などの原因となります。 詳しくは所轄の消防署(庁)にお問い合わせください。
	指定穴以外へねじを固定しない 内部の配線を傷つけ、感電するおそれがあります。		メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造建築物に金属製排気ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける 漏電した場合、火災の原因となります。
	指定以外のねじを使用しない 内部の配線を傷つけ、感電するおそれがあります。		電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。 ●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。
	電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない (傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、引っ張ったりしない) 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。		電源コードはアダプター、排気ダクトと離して固定する 火災など重大な事故の原因となります。詳しくは所轄の消防署(庁)にお問い合わせください。
	D種接地工事をおこなう 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。		給気電動シャッター連動用コード、電動シャッター連動用コードはアダプター、排気ダクトと離して固定する 火災など重大な事故の原因となります。詳しくは所轄の消防署(庁)にお問い合わせください。
	排気工事をおこなう場合、建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って、施工する 火災など重大な事故の原因となります。		
	交流100ボルトで使用する 火災・感電の原因となります。		

注意

	本体は、十分強度のあるところに水平にしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する 落下により、けがをするおそれがあります。		配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、確実にこなう 誤った配線工事は、漏電、感電や火災のおそれがあります。
	取り付け工事の際は、厚手の手袋を使用する 板金部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをすることがあります。		本体は指定の方法で確実に取り付ける 落下により、けがをするおそれがあります。
	取り付け金具やねじは付属のものを使用する 落下により、けがをするおそれがあります。		部品は確実に取り付ける 落下により、けがをするおそれがあります。
			接続するシャッターはそれぞれ5 W以下のものを使用する 火災の原因となります。

設置上のお願い

取り付け場所について

■ガス調理機器、電気調理機器の真上、80 cm以上の位置に取り付けてください。

火災予防条例ではフィルター（油捕集板）の下端がガス調理機器、電気調理機器の真上80 cm以上必要です。（取り付け位置が高すぎると吸い込みが悪くなります）

■エアコンなどによる横風の当たる場所には取り付けないでください。

横風の影響を受けると吸い込みが悪くなることがあります。

■ガス湯沸かし器は側方に離して取り付けてください。

高温により故障の原因となります。

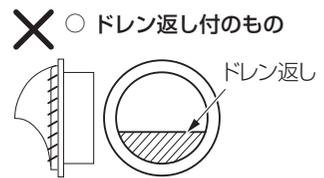
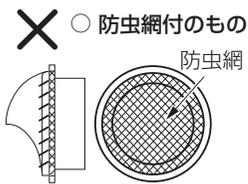


ご使用部品について

■パイプフード、ベントキャップは、排気抵抗の小さいもの（排気ダクト直管長さ25m相当以下）をご使用ください。

6ページの別売品をご確認ください。

■下記のパイプフード、ベントキャップは使用しないでください。



施工について

■羽根をはずした状態でモーターを回転させないでください。

回転数が上がり、モーターが焼きつくことがあります。

■羽根の回転バランスをとるためにバランス（重り）が付いている場合がありますが、絶対にはずさないようにしてください。

異常や故障の原因となります。



■全体換気の必要なところは、他の換気扇との併用をおすすめします。

■空気の取り入れ口（給気口）を設けてください。

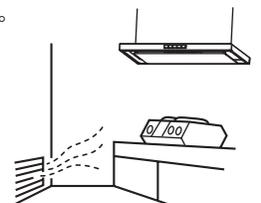
（開口面積100～150 cm²が目安となります）

給気電動シャッターを使わない場合は排気性能確保のため、空気の取り入れ口を設けてください。

■次のような配管工事はしないでください。

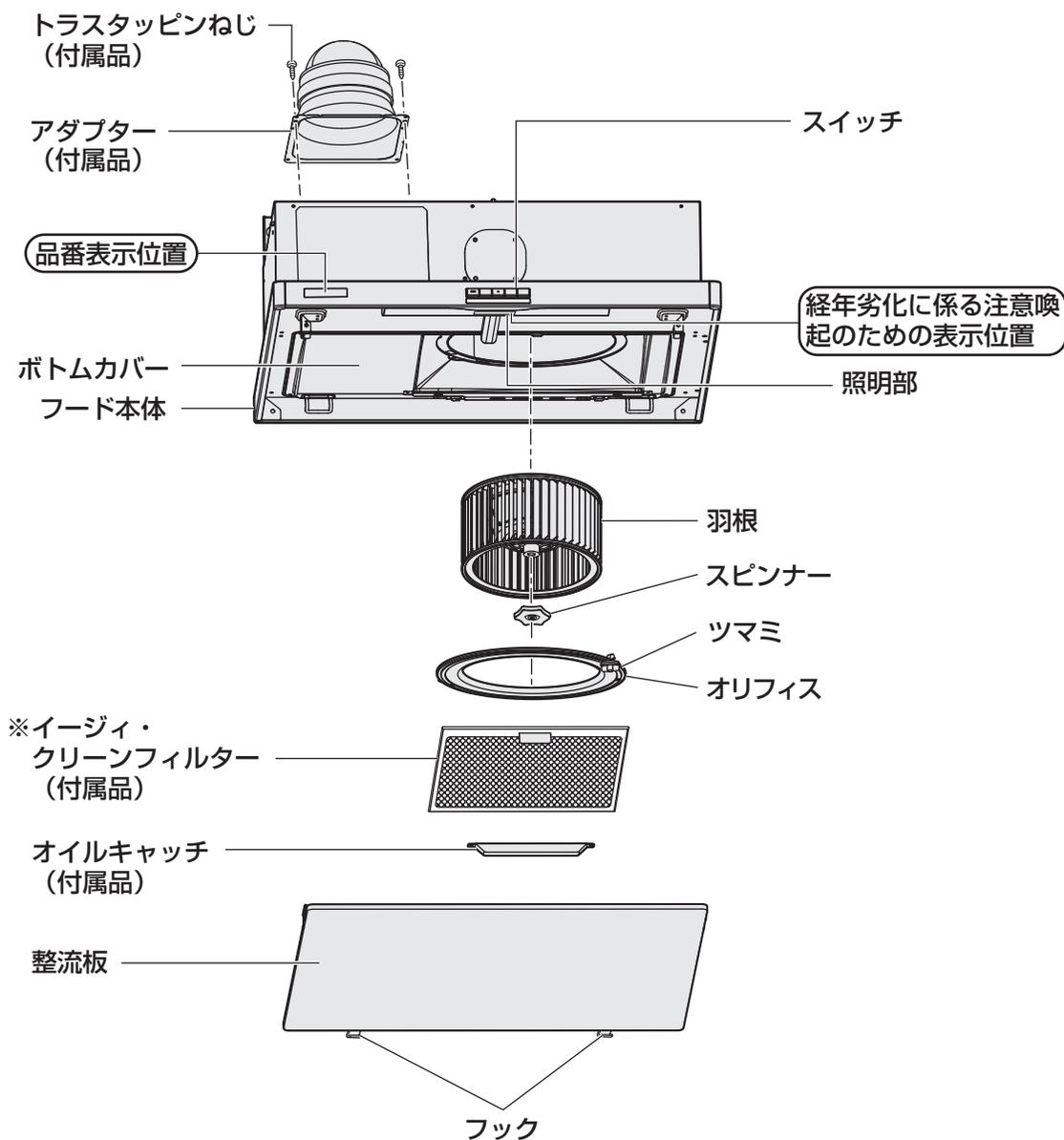
（吐出口のすぐそばで曲げると、シャッターが開かなくなり正しく排気されません）

- (1) 極端な曲げ (2) 吐出口のすぐそばでの曲げ (3) 多数回の曲げ (4) 接続ダクト径を小さくする。



各部の名前

品番および経年劣化に係る注意喚起のための表示位置

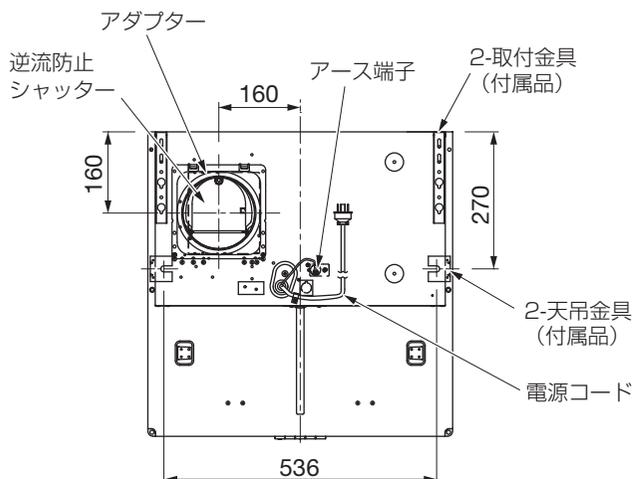


お願い

※印部に特殊処理（はっ水塗装）をおこなっています。
塗装部分に直接さわりますと、指紋がつくことがあります。
施工の際は、手袋の着用をお願いします。

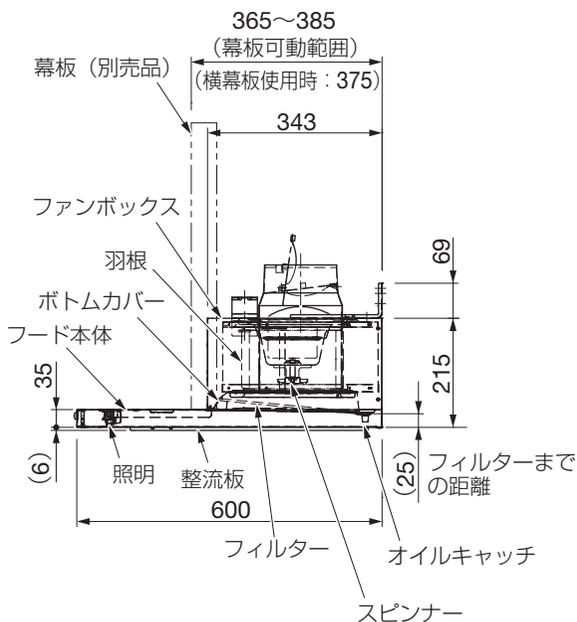
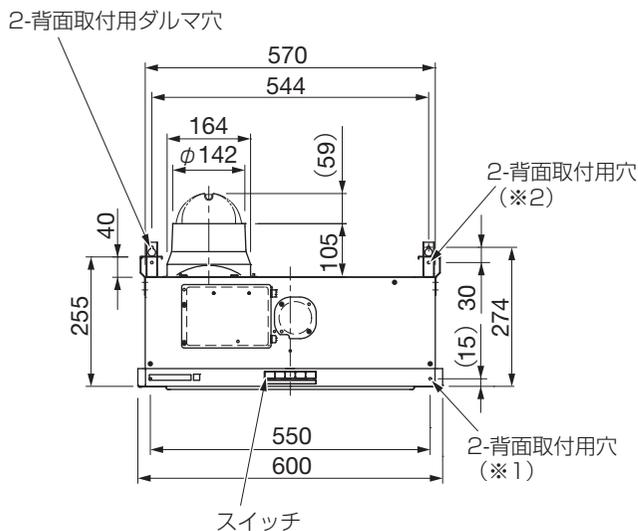
外形寸法図

[単位：mm]



■接続ダクト (市販品)

呼び径	種類
φ150 (6番)	鋼板製スパイラルダクト
質量	12 kg



背面取付用穴「※1」が使用できない場合は「※2」を使用してください。
「※2」を使用の場合は天吊金具を使用して、天吊ボルトを併用してください。

付属品・別売品

お願い

この製品専用の付属品あるいは指定のもの
(別売品) 以外は使用しないでください。

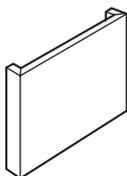
付属品

- | | | | | | |
|----------------------------|---|----|---------------|---|----|
| ●パッキングテープ
(ダクト接続用)..... |  | 1個 | ●フィルター..... |  | 1個 |
| ●トラスタッピンねじ | | | ●アダプター..... |  | 1個 |
| ・アダプター固定用 (φ4×8) ... |  | 2個 | ●取付金具..... |  | 2個 |
| ・天吊金具固定用 (φ4×8) |  | 4個 | ●天吊金具..... |  | 2個 |
| ・幕板補助金具R.L固定用 (φ4×8) |  | 4個 | ●幕板補助金具R..... |  | 1個 |
| ・本体固定用 (φ4×45) |  | 4個 | ●幕板補助金具L..... |  | 1個 |
| ●トラス小ねじ (φ5×8) |  | 4個 | | | |
| ●オイルキャッチ |  | 1個 | | | |
| ●ワッシャー (天吊り用)..... |  | 4個 | | | |
| ●防振ゴムNo.1 (天吊り用)..... |  | 2個 | | | |
| ●防振ゴムNo.2 (天吊り用)..... |  | 2個 | | | |

別売品

詳細についてはカタログを参照してください。

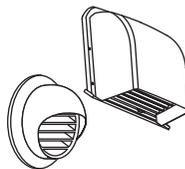
〔幕板〕



〔横幕板〕



〔パイプフード〕



〔ベントキャップ〕



〔給気電動シャッター〕



〔給気電動シャッター連動用コード〕

(給気電動シャッターを使用
される場合 (排気形のみ))

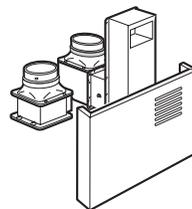
FY-WW001



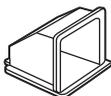
FY-WW004



〔同時給排ユニット〕



〔アダプターアタッチメント〕



FY-AS615

〔電動シャッター〕



FY-MSSJ06

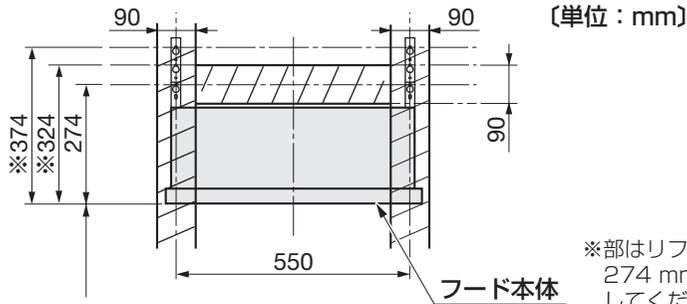
事前準備ください

- ダクト (φ150)
- アルミテープ
- 補強材 (現場により必要です)

取り付け前に

1. フード本体取り付け用棧工事

1、フード本体の取り付け用棧は下図のように固定します。



床面より1650のとき
(カウンター高さ850のとき)

注意

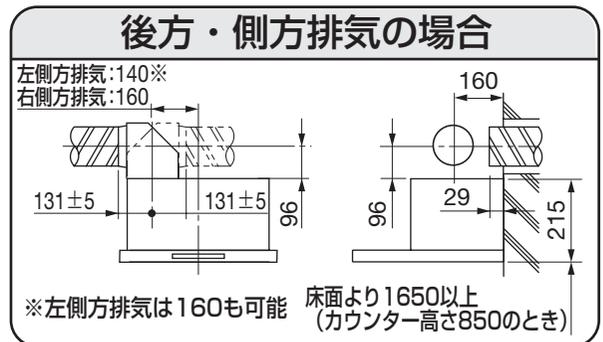
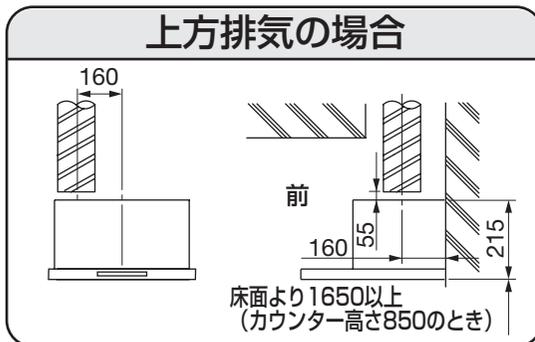
本体は、十分強度のあるところに水平にしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する
落下により、けがをすることがあります。

※部はリフォームなどでフード本体下面から274 mmにねじが使用できない場合に使用してください。

- 2、取り付け用棧は厚み30 mm×幅90 mm程度の補強材（できれば防虫処理したもの）を使用してください。
- 3、フード本体の質量は12 kgです。
十分耐える取り付けをしてください。しっかり取り付けられていないと、騒音、振動の原因になります。
- 4、フード本体は、水準器を使用して水平（0.5度以下）に取り付けてください。
傾いて取り付けますと、オイルキャッチに油がたまらないおそれがあります。

2. ダクト配管について

- 1、製品外形寸法図、または下図の吐出穴位置に壁穴をあけてください。
- 2、上方排気の場合は、φ150のスパイラル管を下図のような位置にセットして周囲を仕上げてください。
側方排気の場合は、アダプターアタッチメントを組み合わせたアダプターの位置にφ150のスパイラル管をセットして周囲を仕上げてください。



3、後方排気の場合は、下記数値以上の壁厚のところに本体を取り付けてください。

防火ダンパー付きパイプフード使用時	190 mm以上
防火ダンパー無しパイプフード使用時	110 mm以上

※使用するパイプフードによって数値が異なりますので、パイプフードののみ込み寸法を確認してください。
上記数値のパイプフードののみ込み寸法は、下記の通りです。

防火ダンパー付き: 75 mm

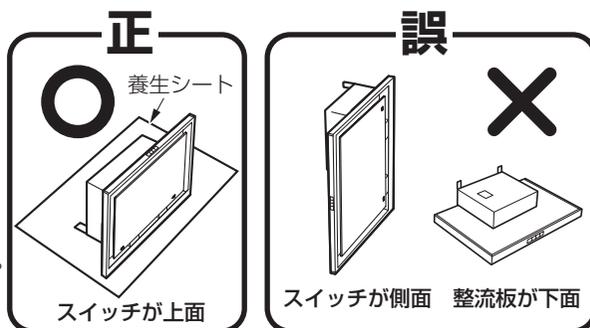
防火ダンパー無し: 55 mm

※壁厚が上記寸法未満の場合、アダプターのシャッターがパイプフードに当たり、完全に開かないことがあります。

取り付け前に（続き）

3.開梱の際は

1. 本体に取り付いている包装材（段ボール、テープ）を必ず取りはずしてください。
 - ※フード本体前面（スイッチ操作面）の保護シートは取りはずさないでください。
 - ※テープの糊残りなどがある場合は、ふき取ってください。
2. 右図のように正しい置きかたをしてください。
 - ※誤った置きかたをしますと傷や破損の原因となります。
 - ※養生シートの敷き物をするなど、傷つき防止をお願いします。



施工方法

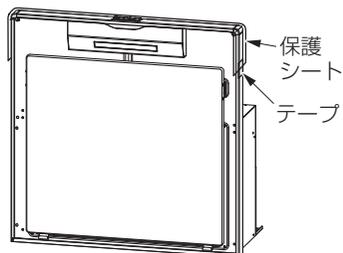
以下の手順に従って施工してください。

1. 整流板をはずす

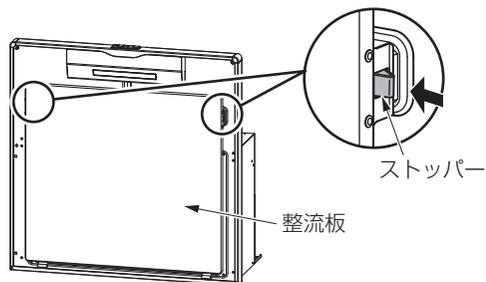
お願い

●フード本体前面の保護シートは施工完了まで取りはささないでください。

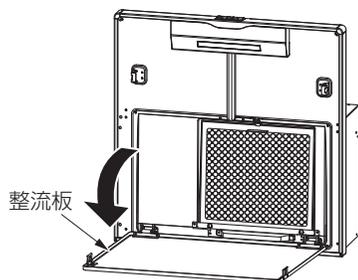
側面に壁や吊戸棚があるなど、設置後に保護シートがはずせない場合は、事前にテープの位置を調整してください。



①整流板を固定している左右のストッパーを指で押し込む。

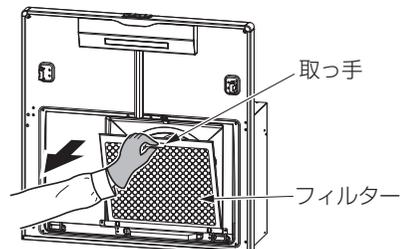


②整流板をゆっくり下げ、整流板をはずす。



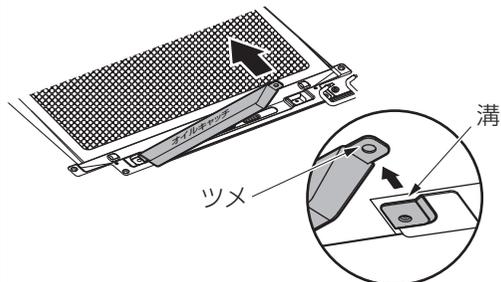
2. フィルターをはずす

フィルターの取っ手を手前に引いてフィルターをはずす。

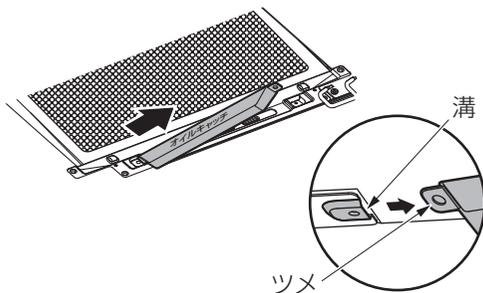


3. オイルキャッチをはずす

①オイルキャッチの右側のツメをはずす。



②左側のツメをはずす。



※左右の溝の構造が異なります。
順番にはずしてください。

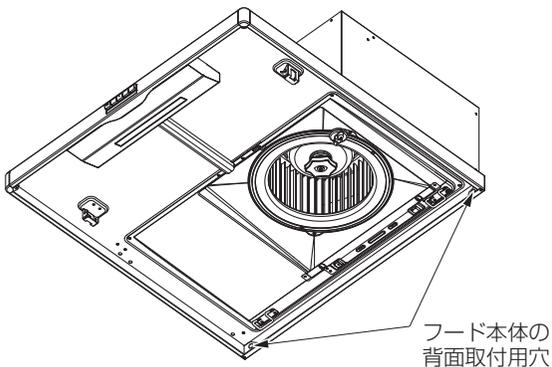
施工方法 (続き)

4.フード本体の取り付け

フード本体の取り付けは、「背面固定の場合」と「天吊固定の場合」があります。

フード本体の背面取付用穴を固定できる場合は、「背面固定」で取り付けてください。

栈工事やタイルなどの壁面仕上げの都合で、フード本体の背面取付用穴を固定できない場合や、天吊固定を指定されている場合は、天吊固定にて取り付けてください。



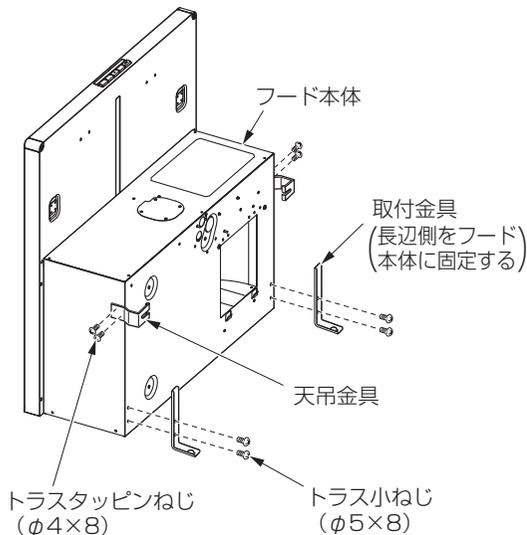
- ①取付金具をトラス小ねじ (各2個)、天吊金具をトラスタッピンねじ (各2個) でフード本体に固定する。

お願い

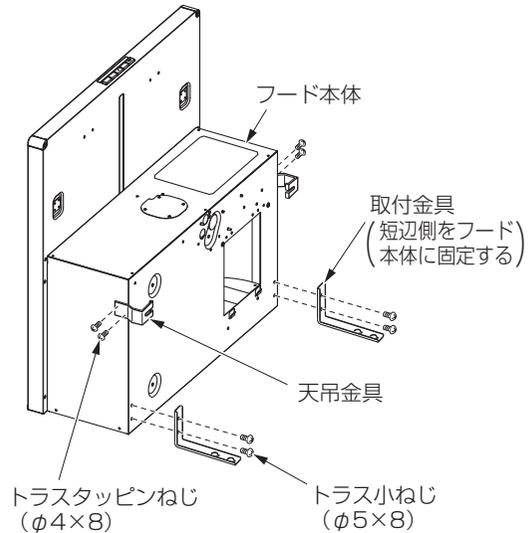
- ねじは締め付けトルク1.5 N・m (0.15 kgf・m) 以下で締め付けてください。

取付金具および天吊金具の刻印とねじの中心を合わせて固定し、必要な場合に長穴で位置を調整してください。幕板の取り付けに使用しますので、背面固定の場合も天吊金具を固定してください。

(場合によっては使用しない組合せもあります)



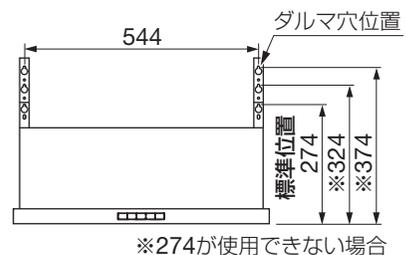
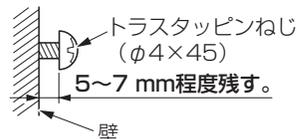
リフォームなどでフード本体下面から274 mm にねじが使用できない場合



お願い

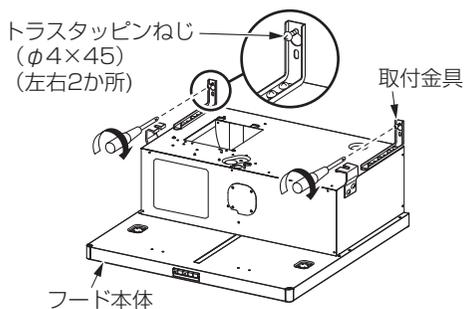
- インパクトドライバーなどを使わず、手回しドライバーにてねじをしっかりと締め付けてください。目安としてトルク1.5 N・m (0.15 kgf・m) 以下で締め付けてください。

- ②背面取付用ダルマ穴位置 (2か所) にトラスタッピンねじ (φ4×45) を仮止めする。



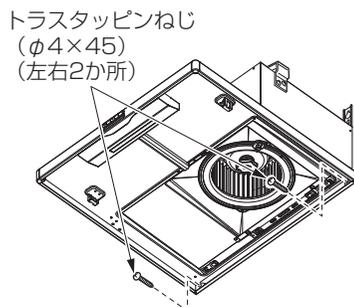
背面固定の場合

- ③フード本体に固定した取付金具のダルマ穴を仮止めたトラスタッピンねじ (φ4×45) に引っ掛け、締め付ける。



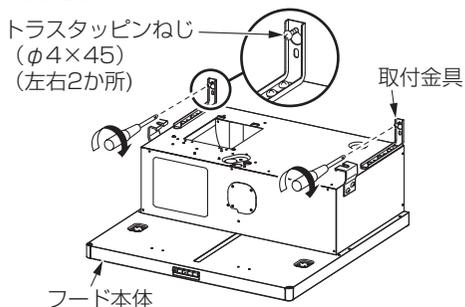
- ④トラスタッピンねじ (φ4×45) でフード本体を固定する。

フード本体の背面取付穴にはラベルが貼ってありますのでその上からねじを締め付ける。



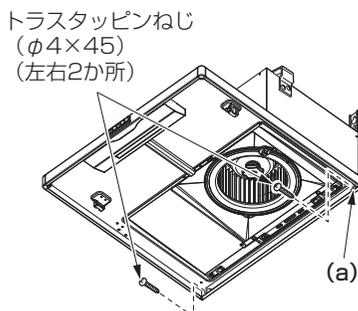
天吊固定の場合

- ③フード本体に固定した取付金具のダルマ穴を仮止めたトラスタッピンねじ (φ4×45) に引っ掛け、締め付ける。

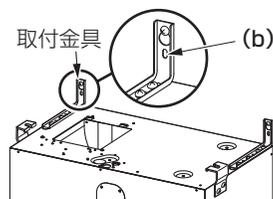


- ④トラスタッピンねじ (φ4×45) でフード本体または取付金具を固定する。

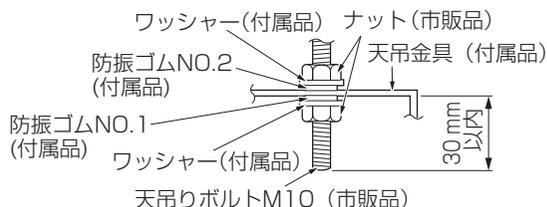
フード本体の背面取付穴にはラベルが貼ってありますのでその上からねじを締め付ける。



※ (a) を固定できない場合は (b) を固定する。



- ⑤天吊りボルトM10へ天吊金具を固定する。

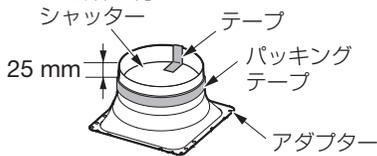


施工方法 (続き)

5.アダプターの取り付け

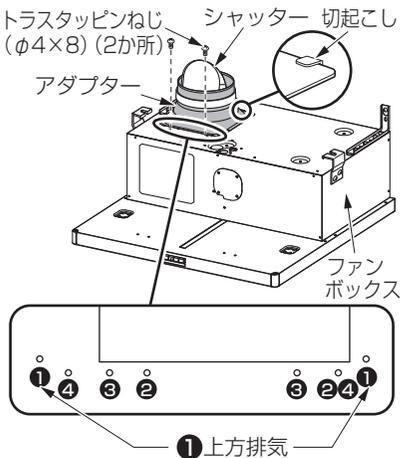
①アダプターを準備する。

- (1) アダプターのシャッターを固定しているテープをはずす。
- (2) 付属のパッキングテープ (ダクト接続用) (付属品) を貼り付ける。

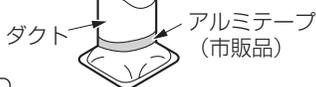


上方排気の場合

- ②シャッターが下図の方向に開くように、ファンボックスの切起こし (2か所) にアダプターを差し込み、トラスタッピンねじ (φ4×8) で"①"の穴に固定する。

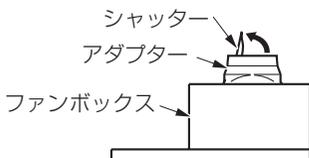


- ③アダプターとダクトを接続し、接続した部分にアルミテープ (市販品) を巻き付け、空気もれを防ぐ。



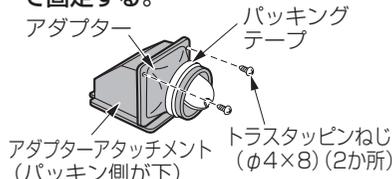
お願い

- アダプターのシャッターが下図の方向に開くように、ファンボックスに取り付けてください。



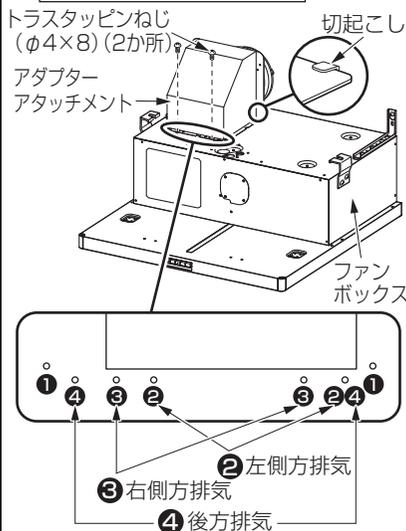
後方・側方排気の場合

- ②シャッターが下図の方向に開くように、アダプターアタッチメント (別売品) へアダプターをトラスタッピンねじ (φ4×8) (2か所) で固定する。

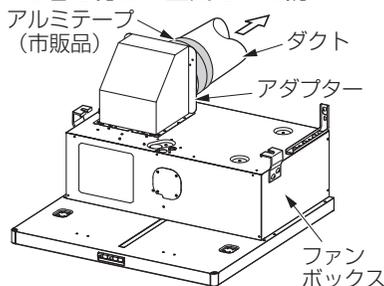


- ③アダプターアタッチメント (別売品) をファンボックスの切起こしに差し込み、トラスタッピンねじ (2か所) で指定の穴に固定する。

後方排気の場合 : ④
 左側方排気の場合 : ②
 右側方排気の場合 : ③

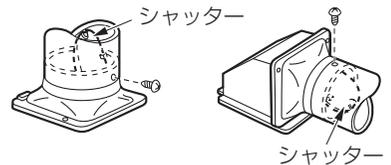


- ④アダプターとダクトを接続し、接続した部分にアルミテープ (市販品) を巻き付け、空気もれを防ぐ。



お願い

- ダクトをねじ止めする場合は、長さ10 mm以下のねじを使用し、シャッター可動部に当たらないように固定してください。



- 排気ダクトと可燃物の距離は、100 mm以上離すか、もしくは下記の処理をしてください。

- ・5 mm以上の不燃材料で被覆し、かつ50 mm以上離す。
- ・50 mm以上の不燃材料で被覆する。

6.電源の接続

警告



アース線接続

D種接地工事をおこなう

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

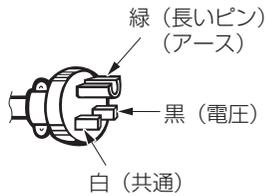
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

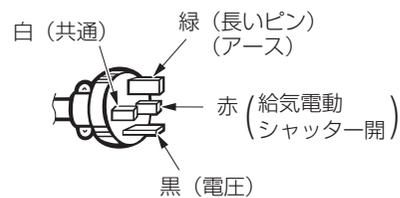
- 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 下記参考配線図に従って結線してください。

電源プラグ外形図

(パナソニック(株)製 WF7004)

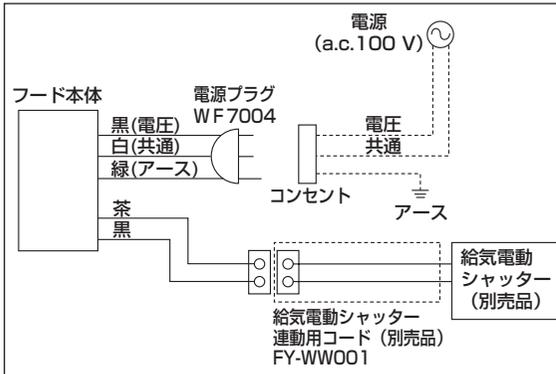


(パナソニック(株)製 WF5415)

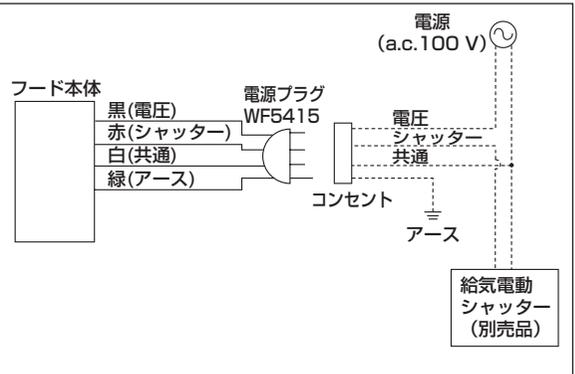


参考配線図

● 排気形



● 給気電動シャッター連動形



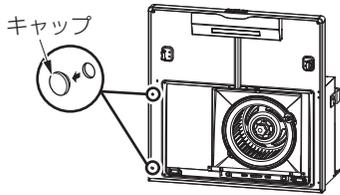
施工方法 (続き)

7. 横幕板/幕板の取り付け

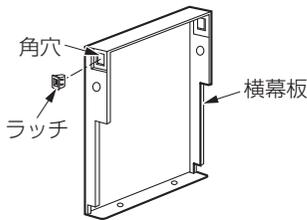
横幕板の取り付け

横幕板を取り付けない場合は、右記の「幕板の取り付け」に従って幕板を取り付けてください。

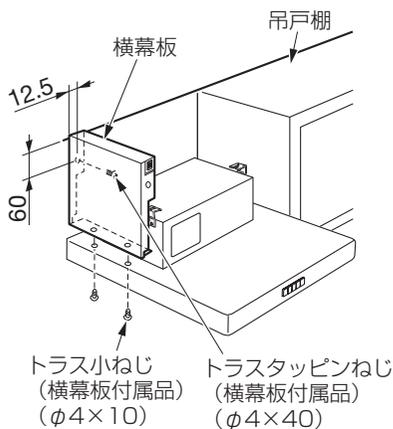
- ①横幕板取り付け側のキャップをはずす。
※整流板をはずして作業する。



- ②横幕板の角穴にラッチを取り付ける。

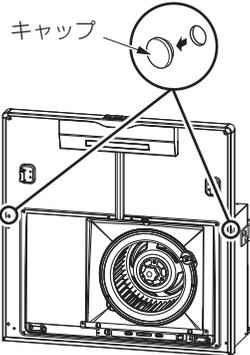


- ③横幕板をねじで固定する。



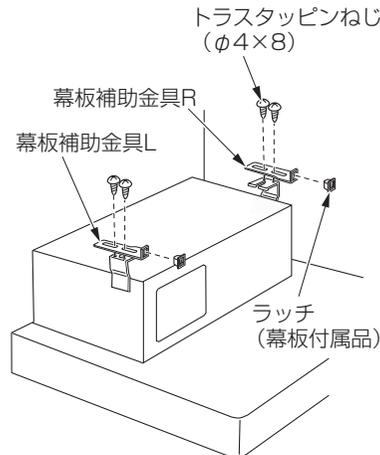
幕板の取り付け

- ①キャップをはずす。
(左右一番上の2か所)
※整流板をはずして作業する。

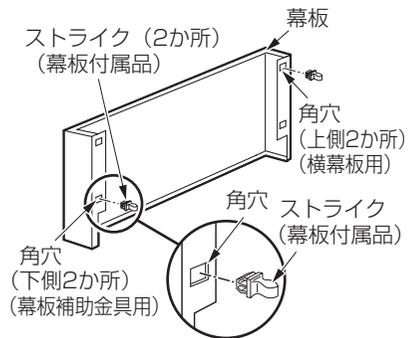


- ②天吊金具に幕板補助金具R、Lをトラスタッピンねじで固定し、ラッチを取り付ける。
(幕板補助金具R、Lの刻印とねじの中心を合わせれば、幕板位置が375 mmとなります。)

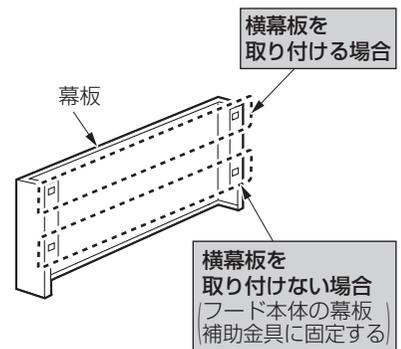
※下図は横幕板を取り付けない場合です。
※横幕板を取り付けた場合は、横幕板側の幕板補助金具は不要です。



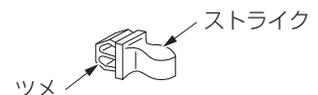
- ③幕板裏面の角穴にストライクを取り付ける。(ストライクは縦向きに取り付ける)
※ストライク取り付け位置は、横幕板を取り付ける場合と取り付けない場合で異なります。



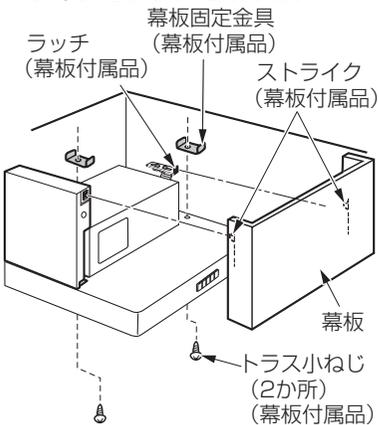
ストライク取り付け角穴位置



※ストライクの取り付け位置を間違えた場合は、ストライク裏側のツメをはずして取りはずしてください。



④フード本体内側より幕板固定金具(2個)を仮止めし、幕板のストライクをラッチにはめる。

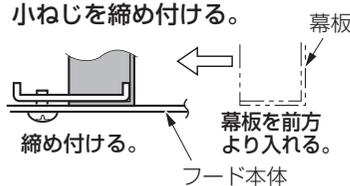


折り曲げ部を前方にする。ねじ穴からの距離が長い方を前方にする。
3 mm~5 mm 余裕をあける。

お願い

●ねじは締め付けトルク 1.5 N・m (0.15 kgf・m) 以下で締め付けてください。

⑤幕板固定金具とフード天面の間に幕板を前方から入れ、トラス小ねじを締め付ける。



※幕板の左右のすきまが均一になるように取り付けます。

警告

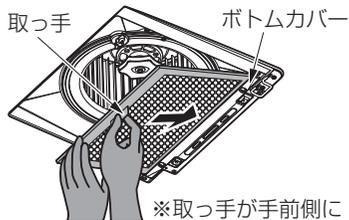


指定穴以外へねじを固定しない
内部の配線を傷つけ、感電するおそれがあります。

指定以外のねじを使用しない
内部の配線を傷つけ、感電するおそれがあります。

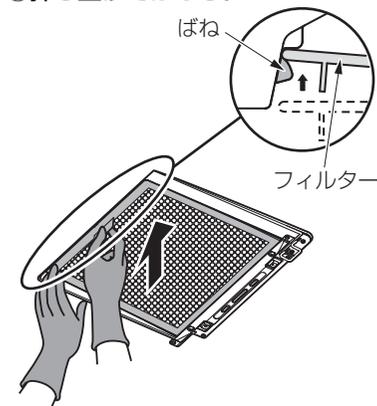
8. フィルターの取り付け

①フィルターの取っ手を持ち、ボトムカバーの奥側に差し入れる。



※取っ手が手前側になるように取り付けてください。

②押し上げてはめる。



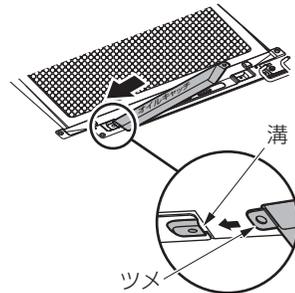
※ばねの上にフィルターが乗り上げて固定されます。
※フィルターは少しななめに取り付きます。

お願い

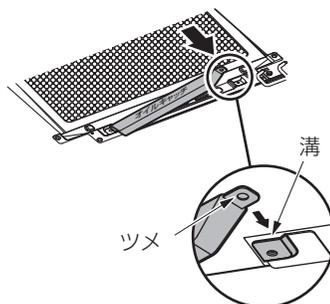
●フィルターがきちんと固定されているか確認してください。
固定されていないと落下するおそれがあります。

9. オイルキャッチの取り付け

①左側のツメを溝にはめる。



②右側のツメをはめる。



※「オイルキャッチ」の刻印を手前に向けて取り付けてください。
※左右の溝の構造が異なります。順番にはめてください。

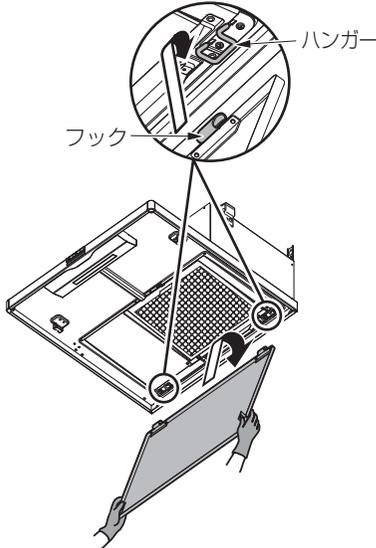
お願い

●オイルキャッチがきちんと固定されているか確認してください。
固定されていないと落下するおそれがあります。

施工方法 (続き)

10. 整流板の取り付け

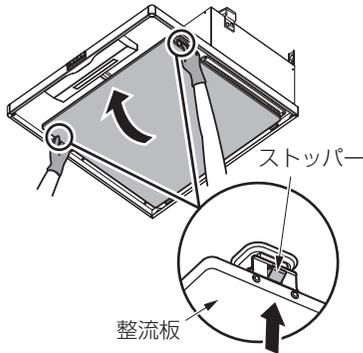
①ハンガーにフックを掛ける。



お願い

- 整流板がきちんと固定されているか確認してください。固定されていないと落下するおそれがあります。

②整流板を押し上げる。

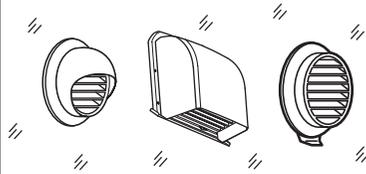


整流板金具の穴がストッパーにきちんとはまるまで押し上げる。

- ※整流板の開閉は、手でささえながらゆっくりおこなってください。落下させるとけがをするおそれや、変形および破損のおそれがあります。

11. 外壁面の施工

- 外壁面には、パイプフードまたはベントキャップを現場にて調達し、付属の工事説明書に従って取り付けてください。



12. 動作確認

- 分電盤のブレーカーを入にして、本体操作スイッチで動作を確認してください。

本体操作スイッチ	チェック欄
弱	
中	
強	
照明 切/入	
切	

お願い

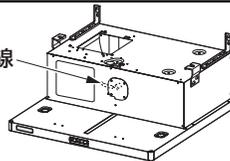
- 運転時、排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
※羽根は回っていますか？
- 異常な騒音・振動がないことを確認してください。
- フード本体前面の保護シートをはずしてください。
テープの糊残りなどがある場合は、ふき取ってください。

シャッター（別売品）の取り付け（排気形のみ）

本フードには、運転連動させてシャッターを開閉することができる連動用信号線が付いています。

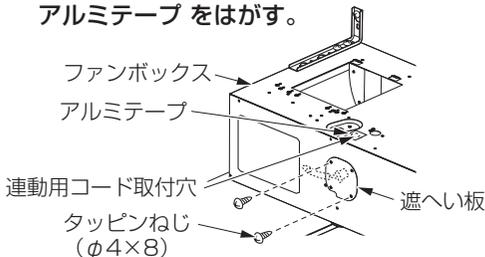
運転モード	弱	中	強
連動用信号線出力	交流100 V	交流100 V	交流100 V

交流100 V
連動用信号線



- 接続は「電気設備技術基準」や「内線規程」に従って確実に接続してください。
- 連動用コードや電動シャッターは現地にて別売品を手配ください。
- 連動用シャッターの施工は機器に付属の工事説明書にもとづき確実におこなってください。

- ①タッピンねじ（φ4×8）（2個）をはずし、遮へい板を取りはずす。
- ②ファンボックスの連動用コード取付穴のアルミテープをはがす。



A. 給気電動シャッターのみを取り付ける場合

右図のように給気電動シャッター連動用コードを取り付ける。

※詳細は給気電動シャッターの工事説明書を参照してください。

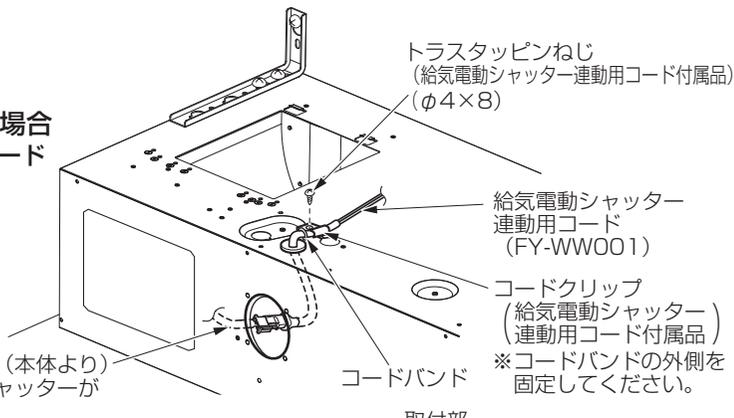
警告

! 給気電動シャッター連動用コード、電動シャッター連動用コードはアダプター、排気ダクトと離して固定する

火災など重大な事故の原因となります。詳しくは所轄の消防署(庁)に問い合わせてください。

注意

! 接続するシャッターはそれぞれ5 W以下のものを使用する
火災の原因となります。



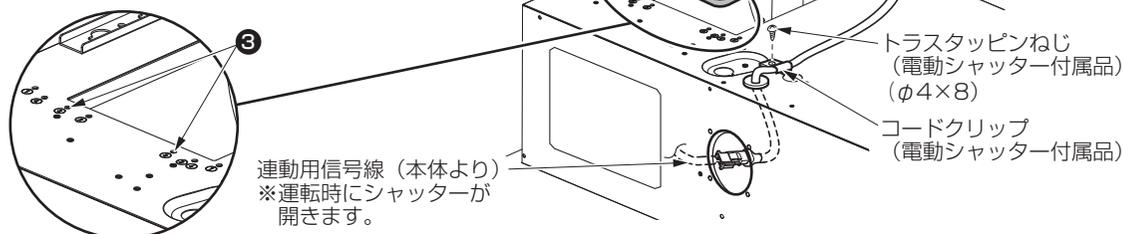
B. 電動シャッターのみを取り付ける場合

右図のように電動シャッター連動用コードを取り付ける。

※アダプターのシャッターは必ず取りはずしてください。

電動シャッターは必ずモーターカバーが壁側にくるように取り付けてください。誤った取り付けをされますと、電動シャッターが開きません。

※詳細は電動シャッターの工事説明書を参照してください。



施工方法 (続き)

シャッター (別売品) の取り付け (排気形のみ) (続き)

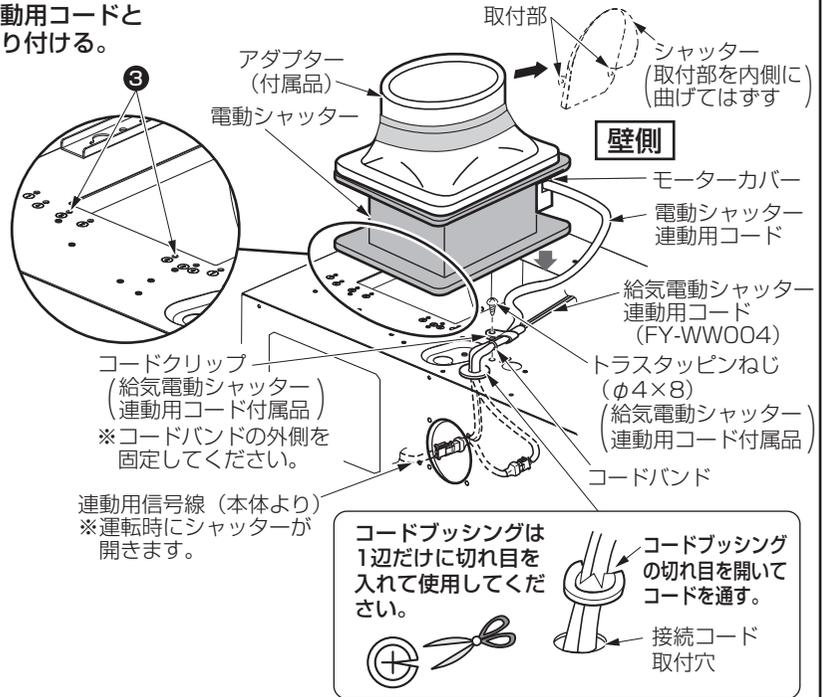
C 給気電動シャッターと電動シャッターの両方を取り付ける場合

右図のように給気電動シャッター連動用コードと電動シャッター連動用コードを取り付ける。

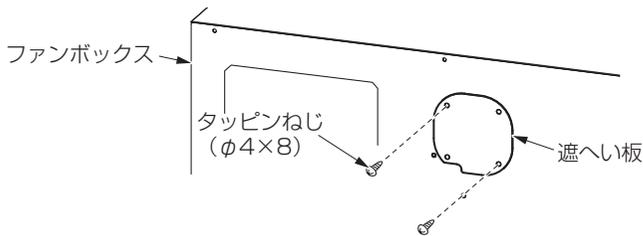
※アダプターのシャッターは必ず取りはずしてください。

電動シャッターは必ずモーターカバーが壁側にくるように取り付けてください。

誤った取り付けをされますと、電動シャッターが開きません。



- ③ 接続したコードをファンボックス内部に納め、遮へい板
①ではずしたタッピンねじ (φ4×8) (2個) で固定する。



MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番 TEL(0568)81-1511

© Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2020

6HZC44201 S3S-P0320-0